

吉田 育未	<p><b>遺伝子発現データを用いた病理診断における遺伝子選択手法の考察</b></p> <p>近年, 癌診断ツールとして DNA マイクロアレイが着目されている. 症状が類似し診断が難しい場合でも簡単に癌の種類を診断できるが, 全ての遺伝子が診断に使用できるわけではない. そこで本研究では, 遺伝子発現に違いがあるものを選択する方法を提案する. 提案手法と既存手法を用いて, DNA マイクロマレイで得られた遺伝子発現データから癌の種類の識別をする遺伝子の選択を行い, 誤差逆伝播法を用いて手法の検証を行う.</p>
-------	--

## (b) 博士(前期)論文概要

該当なし

## (c) 博士(後期)論文概要

該当なし

## (d) 講座所属学生が第一著者として査読ありの論文誌掲載論文一覧

該当なし

## (e) 講座所属学生が各学会で登壇発表した実績一覧

- 1) 菊地直樹, 松原雅文, Goutam Chakraborty, 馬淵浩司: “携帯電話での文字入力における誤り自動訂正手法の提案” 平成 21 年度電気関係学会東北支部連合大会講演論文集, 2B02, p. 52, August 2009.
- 2) 鈴木悟史・松原雅文・Chakraborty Goutam・馬淵浩司: “ニューラルネットワークを用いた携帯端末向け日本語入力手法の有効性について” FIT2009 第 8 回情報科学技術フォーラム講演論文集, E-019, pp. 295-296, September 2009.
- 3) 吉田育未・Goutam Chakraborty・馬淵浩司・松原雅文・山下和彦: “遺伝子発現データを用いた病理診断における遺伝子選択手法の提案” FIT2009 第8回情報科学技術フォーラム講演論文集, G-010, pp. 589-590, September 2009.

## (f) 学生が単独で受けた受賞や表彰一覧

該当なし

## 2. 18. 4. その他の活動

- 1) Invited talk on 31st July, 3rd August, 2009.  
Title of talk I: Grey polynomial interpolation and its applications to image/video processing  
Title of talk II: Adaptive neighborhood median filter with noise detection based on estimated noise distribution for impulse noise removal
- 2) Invited talk on 19th October, 2009.  
Title of the talk: Virtual Reality and Haptics Applications in Healthcare Engineering.